



大阪医科大学附属病院 総合診療専門研修プログラム



WORK
LIFE
BALANCE



ワークライフバランスを重視し
女性のキャリア形成をサポートします

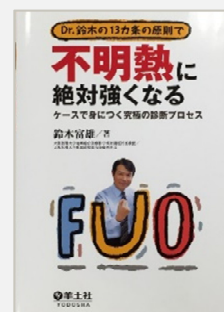
皆さん、こんにちは！総合診療科長の鈴木です。



症例をもとに若き研修医たちが病名をさぐるNHK総合テレビ「ドクターG」に出演。

また、全国の病院では、1つ1つの症例をじっくり深めていく、出張カンファレンス（症例検討会）が好評を博している。

「Dr. 鈴木 の 13カ条の原則で不明熱に絶対強くなる」（羊土社）を2015年4月に発行。



鈴木 富雄（すずき とみお）

大阪医科大学地域総合医療科学寄附講座 特任教授
大阪医科大学医学部附属病院総合診療科 科長

【略歴】

名古屋大学医学部卒業。
名古屋大学医学部附属病院総合診療科を経て、
2014年9月より、大阪医科大学地域総合医療科学
寄附講座特任教授、大阪医科大学附属病院総合
診療科科長。

みなさんこんにちは。大阪医科大学附属病院総合診療科科長で本プログラム責任者の鈴木富雄です。
私は2014年9月にそれまで勤務した名古屋大学医学部附属病院を退職し、大阪医科大学附属病院に赴任いたしました。その時点で既に存在していた大阪医科大学総合内科における後期研修プログラムを、さらに進化させ新たに拡大させたものが、本プログラム「大阪医科大学附属病院 総合診療専門研修プログラム」です。

新しいフレッシュなプログラムにも関わらず、大変喜ばしいことに研修を希望される方が多く、現在卒後8年目のレジデントが2人、卒後7年目のレジデントが5人、卒後6年目のレジデントが3人、卒後5年目のレジデントが2人、卒後4年目のレジデントが2人、卒後3年目のレジデントが1人、計15人が本プログラムに在籍しています。

家庭医として開業を考えている者、病院総合医としての研鑽を積みたい者、卒前教育や卒後教育に関心の高い者、感染症診療分野で活躍したい者、彼らが希望する将来像は実に様々ですが、皆に共通しているのは、常にどんな時でも目の前の患者に対して真摯に対応できる臨床家でありたいという強い思いです。

彼らの学びに対する意識は貪欲であり、日々の診療を通じての成長は目覚ましいものがありますが、雰囲気は極めて和やかで、和気あいあいと毎日の研修に励んでいます。

皆さんも私たちと一緒に、自分自身の未来への輝かしいキャリアと日本における総合診療の新たな歴史を創っていきませんか？よろしければまずは是非一度、気軽に見学にお越しください。

教授室でたくさんのお菓子と素敵な秘書がお待ちしております。



三澤 美和 (みさわ みわ)

大阪医科大学附属病院総合診療科の三澤です。私は滋賀県にある長浜赤十字病院で11年間、糖尿病診療や救急医療に携わり家庭医療専門医および糖尿病の専門医として診療をしてきました。今までよりさらに全人的に、網羅的に患者様の様々な健康問題に対応できる病院総合医としての経験を積みたいと思い、2016年4月に当科に赴任して早いもので3年が経ちました。当科の患者様は実に多岐に渡る訴え、病態、状況を抱えており、これまでの経験が何だったのかと思うくらいに今でも日々新しいこととの出会いの連続です。患者さんの背景や気持ちをよく聞き、その方にとって何が問題なのかを患者さんとともに見つけていく診療は学びにあふれています。

本プログラムに在籍するレジデントたちは個性豊かで、お互いに助け合いながら楽しく研修を積んでいます。時に困難な症例にぶつかるときにも、ともに悩み、解決の方法を探し私も含めお互いが成長していると思います。教授との日々のカンファレンスでは様々な患者さんについて活発にディスカッションを行っております。

私自身、二人の子供を育てながら仕事を続けさせてもらっており、当科はそれぞれの働き方を一緒に考えていける場所でもあります。専門医制度が混とんとする中、不安もあるかもしれませんが、臓器別には決められず患者さん全体を診たいと思う人、患者さんの家族や背景も大切にしたい診療を目指したい人、レジデント部屋で一緒にわいわい勉強したい人・・・！きれいどころの秘書さん達と共にみなさんが来てくださるのをお待ちしております。

大阪医科大学
地域総合医療科学寄附講座
特任助教
大阪医科大学医学部附属病院
総合診療科 医長

大阪医科大学附属病院 総合診療科

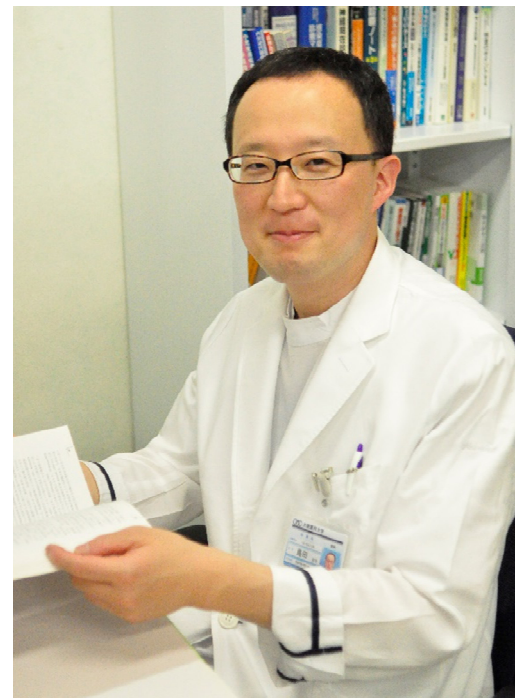
島田 史生 (しまだ ふみお)

私は大学を卒業して市中の病院で研修を行い、その後総合診療医の道を歩むべく千葉大学医学部附属病院総合診療科にて診断推論を中心に研鑽を積み、2017年4月に本学へ赴任しました。ドクターGこと鈴木教授を筆頭に、熱意溢れる指導医の方々や個性豊かな当科レジデント達、さらに卓越したサポート力を発揮する秘書さん達と、日々の診療や当科をローテートされる研修医や学生さんへの教育、研究に従事しています。また大学での仕事の他に、本学へ赴任した年から毎年4ヶ月間、高知県の本山町にある病院へ出向しており、当講座の主たる任務の一つであり地域医療への貢献にも携わっています。

当科で診療する患者さん達はbio-psycho-socialの各領域で複雑な問題を抱えた方が多く、まさに総合的な視点が必要な人たちばかりであり、そのような環境の中でレジデントの先生達と共に時に悩みや疑問にぶつかりながらも日々診療に当たっています。

私達の研修プログラムは診療所から地域の中核医療機関、更には大学病院という高次機能病院まで多様な医療現場で研修を送ることが可能であり、レジデント一人ひとりのニーズや状況にも応じて多様な研修環境・キャリアプランそして指導体制を提供しています。

また私達の診療科はwork-life balanceを大事にしており、その結果？（私も含めて）子育て中の先生もたくさん在籍して活躍しています。総合診療や家庭医療に興味のある先生方、ぜひ私達と一緒に学んで行きませんか？皆さんのお越しを心からお待ちしています！



大阪医科大学
地域総合医療科学寄附講座
特任助教
大阪医科大学医学部附属病院
総合診療科 医長

大阪医科大学附属病院 総合診療科
研修プログラム

3つの特徴

病歴と身体診察を基本とし、
患者の思いに応えられる
本物の総合診療能力を獲得

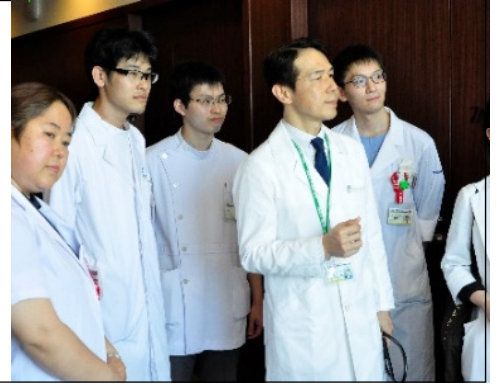
院内から全国に広がる
濃密なネットワークを駆使し、
多彩なキャリアパスを支援

プロフェッショナルとしての
生涯に渡る成長と学び
の方略を確立

研修プログラムについて

病歴と身体診察を基本とし、患者の思いに応えられる本物の総合診療能力を獲得

- ・カンファレンスやレクチャーにて臨床推論の王道を研鑽
- ・ジェネラリストのロールモデルの診療科長による直接指導
- ・ベットのサイド教育を通じて的確な診察手技をマスター
- ・丁寧なフィードバックにて学びを得る外来・病棟研修
- ・最後の砦の大学病院総合診療科医としての粘り強い診療姿勢



院内から全国に広がる濃密なネットワークを駆使し、多彩なキャリアパスを支援



- ・診療所から第一線病院までの指導体制の充実した協力施設群
- ・大阪医大での専門各科の柔軟で熱意溢れる全面的サポート体制
- ・小児から高齢者、救急から在宅・緩和ケアまでの幅広い研修機会
- ・卒前卒後の医学教育への参加機会や留学および教員への道もあり
- ・ワーク ライフ バランスを第一に女性のキャリアも最大支援

プロフェッショナルとしての生涯に渡る成長と学びの方略を確立

- ・定期的な振り返りにより到達地点を確認し次の目標を設定
- ・ストレスフルな問題に対するSEA (significant event analysis)
- ・ジレンマや悩みも気軽に相談できる指導医と医局の雰囲気
- ・成長の証のポートフォリオ記述に関する明快で詳細な指導
- ・生涯にわたり成長する省察的实践者としての個人をサポート



常に目の前の患者に真摯に対応し最善の選択ができる

「あなたの専門家」

になるために

研修プログラムの一例

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年目	必須内科 大阪医大●●内科			必須内科 大阪医大●●内科			必須内科 大阪医大●●内科			必須内科 大阪医大●●内科		
2年目	総合診療専門II 大阪医大総合診療科						必須救急科 洛和会丸太町病院			必須小児科 洛和会音羽病院		
3年目	総合診療専門I 公立神崎総合病院						総合診療専門I 本山町立国保嶺北中央病院					

総合診療 I 密接に関連した診療所もしくは小病院で Commonな症例を豊富に経験	山口医院、公立神崎総合病院、 本山町立国保嶺北中央病院、川村会くぼかわ病院、 奈良市立都祁診療所、米原市地域包括医療福祉センター
総合診療 II 研修の中心となる大学病院総合診療科で ジェネラリストとしての根幹を確立 (必須内科研修を兼ねる)	大阪医科大学総合診療科、市立奈良病院、 沖縄県立北部病院
必須内科 大学病院専門内科での充実した指導体制下で 豊富な症例を研鑽	大阪医科大学専門内科各科、有澤総合病院、 洛和会丸太町病院、公立神崎総合病院、 市立ひらかた病院、高槻赤十字病院、 本山町立国保嶺北中央病院、川村会くぼかわ病院、
必須救急科 一次から三次まであらゆる症例に対応できる 救急診療能力を育成	大阪医科大学救急科、市立ひらかた病院、 市立奈良病院、高槻赤十字病院
必須小児科 外来から入院症例まで多彩な症例を経験	大阪医科大学小児科、洛和会音羽病院、市立ひらかた病院、 市立奈良病院、公立神崎総合病院、高槻赤十字病院
領域別研修 レジデントの希望に応じて柔軟な選択が可能	大阪医科大学専門各科、 しもむら内科クリニック、かとう内科並木通り診療所

研修場所に関わらず、3年間を通して定期的な振り返りセッションを継続
 より良い学びの場を求めて、現在さらに研修協力施設を全国的に拡大中

Resident Voice



専攻医 高山 真弥
出身大学/兵庫医科大学

やりがいを感じることは？

丁寧な病歴聴取・身体診察を心掛け、幅広い可能性から原因を見つけ出し、患者さんが安心して笑顔になってくれた時。

総合診療科の雰囲気は？

優しく気さくな先生ばかりでとても楽しいです！
いつでも症例相談に乗ってもらえるので心強く、手厚いレビューと振り返りで日々成長できます。

医学生、研修医へのメッセージをお願いします。

患者さんは“主訴”だけでなく他にも“困っていること”があるはず。
「病気」を診るだけでなく、その「人」の全体を診れる医師と一緒に目指しましょう！



専攻医 稲垣 諒将
出身大学/大阪医科大学

やりがいを感じることは？

患者さんの多種多様な困難に直面し共に解決できたとき。

総合診療科の雰囲気は？

物凄くアカデミックかつ医学の原点。

医学生、研修医へのメッセージをお願いします。

是非、我々と今後の総合診療を担っていきましょう！



専攻医 川口 洋平
出身大学/福井大学

やりがいを感じることは？

患者さんやその家族が満足できる医療を提供できた時。

総合診療科の雰囲気は？

鈴木先生のもと、全員一丸となって診療にあたっています。
また上級医の先生方も気さくで気兼ねなくなんでも相談できます。

医学生、研修医へのメッセージをお願いします。

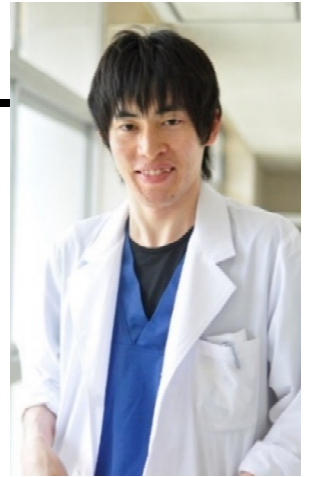
医師として一緒に学び成長していきましょう！

大阪医科大学附属病院 所属

専攻医 中垣 孝規 出身大学/大阪医科大学

専攻医5年目となりました。

昨年は専門医試験を終え、現在はサブスペシャリティーの研修として大学附属病院リウマチ膠原病科で勉強させていただいています。それぞれの意向に沿った研修プログラムを組んでいただけるので、総合診療の知識をベースに興味のある領域にもさらに踏み込んだ研修が行えます。ぜひ、一度遊びに来てください。



高知県 医療法人川村会くぼかわ病院にて研修中

専攻医 住友 嗣之 出身大学/大阪医科大学

高知県四万十町（旧窪川町）にあるくぼかわ病院にて半年間の研修を行わせていただきました。医療機関の数が限られた地域では、急性期や外来診療はもちろんのこと、回復期や慢性期、在宅医療、予防医療など、様々な健康問題への対応が求められます。特に在宅医療はこれまで直接携わったことがない分野であったため、初めは手探りでしたが、最終的にはよい成長の糧となりました。

外病院研修で得られた様々な経験をフィードバックして、今後の診療に活かすと共に、専門医取得に向けた準備を進めていきたいと考えています。

高知県 本山町立国保嶺北中央病院にて研修中

専攻医 関根 一臣 出身大学/大阪医科大学

約1年間を高知県の嶺北中央病院で総合診療専門1の研修をして過ごしました。地元住民との交流を積極的に行うことで地域特性を把握し、病院での診療・へき地診療所での外来・健康講習会・消防署との合同カンファレンスなどを通じて、“地域に合った医療”を実践しています。

今年は専門医試験も控えています。今年度は“嶺北”で学び得たことや今までの経験を生かし、その人らしい“生き方のサポート”と“医療のバランス”がとれる家庭医を目指していきます。



高槻赤十字病院にて研修中

専攻医 重留 一貴 出身大学/大阪医科大学

医師4年目となった今年4月から3ヶ月間高槻赤十字病院で救急研修をしています。市中病院ならではの他職種との垣根の低さに助けられる毎日です。自分がオーダーしたエコーを技師さんの所に見に行き自分で当てさせてもらったり、グラム染色のプレパラートを見に行ったりしています。逆に大学の知識を活かして他科の先生のお力になれることもあり、成人スティル病や血管炎が疑われる症例の相談に乗らせて頂いたりしています。教えてもらうだけでなく少しでも何かを返せるように頑張ります。

WORK LIFE BALANCE



女性医師の一日をご紹介します！

8:15 子供を保育室へ

明るく活気あふれる大学の保育室
近くなので安心して預けられ
仕事に集中出来ます！



8:30 医局到着！

朝一番の申し送り。
当直担当から入院患者さんの引継ぎや、
今後の対応方法を上司や先輩方と話し合い
1日の計画をしっかりと立てます！



9:00 外来業務へ

様々な思いを抱えた患者さんと
誠心誠意向き合っています。

14:30 昼食

昼食は先輩と一緒にいただきます！



15:30 カンファレンスと回診

疑問点が解消されるカンファレンス
患者さん一人一人
じっくり時間をかける回診



17:00 専攻医のための勉強会

鈴木先生からの濃いレクチャーが
受けることができる貴重な時間！



18:00 保育室へお迎えに・・・

⋮

大阪医科大学附属病院総合診療科は、
女性のキャリア形成を全面的にサポートします！



ある専攻医の一週間

時刻	月	火	水	木	金	土	日
7:00							OFF
8:00		医局会/抄読会					
9:00	病棟診療 オンコール当番	外来診療	外部勤務	病棟診療	外部勤務	隔週(第1.3.5週) 外来 or 病棟診療	
10:00							
11:00							
12:00							
13:00							
14:00							
15:00				ミニレクチャー			
16:00	入院カンファレンス	カンファレンス 科長回診		救急・外来 カンファレンス	カンファレンス 科長回診		
17:00							
18:00	勉強会	救急当直	勉強会 準備	第4木曜 漢方レクチャー	勉強会		
19:00							
20:00						京都GIMへ参加 (第1金曜)	
21:00							
22:00							

レジデントの活動風景



カンファレンス・勉強会

<p>Dr. 鈴木の 熱血レクチャー シリーズ</p>	<p>金 17時～18時半</p>	<p>専攻医の熱いリクエストを受け、 毎週金曜の夕方、ついに始まりました 『Dr. 鈴木の熱血レクチャーシリーズ』 熱気に溢れた猛烈に密度の濃い1時間半ですが、 他ではちょっと聞けない実践的で超役に立つ クリニカルパールの数々が満載です。</p>	
<p>ベットサイド ティーチング</p>	<p>火・金 15時半～17時</p>	<p>診療科長の鈴木が研修医や専攻医と共に、 入院中の患者に対して一人一人時間をかけて 回診します。ベットサイドティーチングの神髄が ここにあります。</p>	
<p>入院 カンファレンス</p>	<p>月 15時半～17時</p>	<p>研修医や専攻医が受け持ちの入院症例を プレゼンテーションした後、参加者全員で ディスカッションをして議論を深めます。 診断困難例や治療方針が立ちにくい症例を 共有して方向付けをする重要なカンファレンスです。</p>	
<p>救急・外来 カンファレンス</p>	<p>木 15時半～17時</p>	<p>救急当直や外来での興味深い症例の共有や、 治療方針の決定の相談など、何でも気軽に 議論のできる場です。 たくさんのクリニカルパールが示される 大変有意義なカンファレンスです。</p>	
<p>抄読会</p>	<p>火（隔週） 8時～8時半</p>	<p>専攻医が持ち回りで、それぞれの興味に応じて、 総合診療・家庭医療に関する英文論文を読み込み、 簡単な資料を作成して皆で論文からの学びを 共有します。</p>	
<p>ポートフォリオを 用いた振り返り</p>	<p>月 18時～19時</p>	<p>専攻医が持ち回りで、家庭医療専門医取得に必要な 書式でポートフォリオを作成し、指導医の下で 文献などを調べ、理論的背景を深めながら、 皆で学びの振り返りを行っています。 この時間は、キャリアを確実に積み上げていく上で 欠かすことのできない「メタ認知」を行う 絶好の機会となっています。</p>	
<p>漢方レクチャー</p>	<p>木 （月に一度）</p>	<p>日本プライマリ・ケア学会指導医で 日本東洋医学会漢方専門医でもある漢方の達人、 下村先生による非常にわかりやすい漢方レクチャー。 証を見極め適切な手を打つ。必見の講義です。</p>	

大阪医科大学附属病院 総合診療科



まずはお気軽に
お問い合わせください。

レジデント募集要項

応募資格	1. 医師免許を有している者 2. 2020年4月までに臨床研修を修了している者、または修了見込みの者 3. 臨床研修修了後6年を経過していない者
研修開始日	2020年4月1日 但し、応募者の都合により研修開始日の変更は可能
試験日	第1回目 未定 第2回目 未定 第3回目 未定
選考方法	面接試験
出願期間	第1回目 未定 第2回目 未定 第3回目 未定
問い合わせ先	大阪医科大学附属病院 総合診療科 gmd002@osaka-med.ac.jp

※総合診療専門医研修を行うためには、上記の申込と共に日本専門医機構が定める専攻医登録システムへの登録が必要です。詳細は、日本専門医機構のホームページをご覧ください。